

事業所名		ぱらすの森		支援プログラム（参考様式）		作成日	2025 年	8 月	7 日
法人（事業所）理念		子ども一人ひとりの個性と可能性を尊重し、成長を支える環境を提供します。安心して過ごせる場所で、遊びや体験を通じて社会性や自立心を育み、自己表現とコミュニケーション能力を高めることを目指します。また、地域社会とのつながりを大切にし、保護者と連携しながら、子どもの未来に向けた支援を行います。							
支援方針		ひとりひとりと寄り添い遊びを通して集団活動や日常の自立支援を行います。							
営業時間		9 時 30 分から 14 時 00 分まで			送迎実施の有無	あり なし			
		支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	療育活動例　：　ライフスキルトレーニング、クッキング　等 「自分でできることを増やす」を目標に、着替え・洋服をたたむ・片付けなど日常生活に必要なスキルを身につけることができるよう丁寧に支援します。							
	運動・感覚	療育活動例　：　運動あそび、ビジョントレーニング、公園であそぼう、感触あそび、製作、リトミック　等 全身を大きく動かす粗大運動や、指先を細かく使う微細運動、五感を使う活動を行っています。 子ども達の「できた!」「もっとやりたい!」を大切にしながら、一人ひとりのステップに合わせて達成感を感じることができるよう支援します。							
	認知・行動	療育活動例　：　英語あそび、プットイン　等 療育玩具を用いて、楽しみながら、子ども達の能力やスキルを伸ばします。 スモールステップで繰り返し取り組むことで、達成感、自己肯定感を得ることができ、また意欲を育めるように支援します。							
	言語コミュニケーション	療育活動例　：　読み聞かせ、ことば遊び　等 絵カードやフラッシュカードなどを使い単語を覚えたり、かるたとりなどのゲームを通して言葉に親しみをもちます。 活動や遊びを通して、話を聞く力・伝える力を育て、友達とコミュニケーションをとる楽しさを感じることができるよう支援します。							
	人間関係社会性	療育活動例　：　ルール遊び　等 職員と一緒にルールのある遊びを通して、友だちと関わる楽しさや、簡単なルールを学べるよう支援します。また、交通ルールなど、暮らしの中にあるルールも学べるよう支援します。							
家族支援		・連絡帳を用いて、活動の様子を毎回お知らせします。 ・家庭やぱらすの森での様子を共有しながら、困り感には適宜助言を行うなど、保護者の気持ちに寄り添い、安心してご利用いただけるよう努めます。			移行支援	それぞれのライフステージに応じて園や家庭と支援目標、現在の状況や支援方法を共有しながら、ぱらすの森外でも同じ方向性を持って対応できるよう共通理解を図ります。			
地域支援・地域連携		・相談支援事業所や各園等と連携を図りながら、切れ目のない継続的な支援をしていきます。 ・地域資源を保護者にも紹介することで活用していただけるようお手伝いさせていただきます。			職員の質の向上	・職場内研修(特性の理解・虐待防止・身体拘束・感染症対策・非常災害対策　等)を月に1回以上行っています。 ・施設外研修にも積極的に参加することでスキルアップを図ります。			
主な行事等 (令和6年度参考)		【春】 お花見、子どもの日		【夏】 夏まつり、七夕	【秋】 ハロウィンパーティー	【冬】 クリスマス会、正月遊び、節分			

※ 詳しい活動内容は、月々の活動予定表をご覧ください

